

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	38022
事業名	障がい者スポーツ普及促進費					
評価担当課	所 属	ス)スポーツ部 企画事業課			電話番号	011-211-3044
施策名	誰もがスポーツを楽しみながら、心身共に健康で充実した生活を送					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費		
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助・助成 ○ その他					

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	障がい者スポーツの体験会やパラアスリートによる小中学校を対象とした講習会等の普及振興活動に力を入れているところであるが、障がいのある方がスポーツを行うには、場所・機会・費用・支援体制等のさまざまな課題が存在しており、誰もがスポーツを楽しめる環境を整備し、共生社会の実現につなげていくためには、さらなる普及振興の取組が必要である。
	事業内容(何を実施し)	【目的】障がい者の競技スポーツの普及拡大や競技力向上、市民理解の促進を図る。 【事業内容】 ①障がい者スポーツ体験会 ・市内小中学校を対象とした、パラアスリートによる出前体験授業(17校、1156人) ②指導者等養成講習会 ・ボランティア養成講習会の実施(32人) ・シットスキー、バ이스キー指導者養成講習会(28人) ③障がい者スポーツ大会補助 鹿児島県で開催した全国障害者スポーツ大会への札幌市選手団派遣(76人)及びブロック予選会出場選手等への補助等 ④その他障がい者スポーツ普及促進に関する事業(環境整備等を含む) 【レベルアップ】 障がい者スポーツの学校開放優先枠拡大(新たに平岡公園小学校を優先校として加えた)
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	障がいの有無にかかわらず、誰もが生きがいを持って生き生きと暮らせる共生社会を実現する。
	他都市の状況	東京オリンピック・パラリンピック開催後、各政令指定都市や都道府県において障がい者スポーツの体験会や教室、選手・指導員の養成など障がい者スポーツの普及促進事業が行われている。
	市民参加の実施	☐ 企画 ☒ 実施 ☐ 評価 ☐ 対象外

令和4年度決算額	27,996 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	2 人工
令和5年度予算額	47,000 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	2 人工
令和5年度決算額	40,787 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	2 人工
令和6年度予算額	47,000 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0 人工

指標	アウトプット活動指標1	体験会等の参加者延べ人数				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		1,785人	2,500人	6,455人	7,000人		
	↓						
	アウトカム成果指標1	札幌市在住の障がい者(成人)の週1回以上のスポーツ実施				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		53.60%	54%	59.70%	60.00%		
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	体験会等の参加者延べ人数については、現在、障がい者スポーツ体験会を数多く実施しており、今後も参加人数の増を目指す。札幌市在住の障がい者における週1回以上のスポーツ実施率については、第2期スポーツ推進計画で掲げている60%の早期達成を目指す。					
	アウトプット活動指標2					という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標2					という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方						

今年度の見直し内容	なし
来年度以降の方向性	全国障害者スポーツ大会の札幌選手団の競技レベルの向上に伴い、参加人数もこれまでの予想人数100名を超える可能性があることから、事業予算の拡大をしていきたい。